

06

9.27 (月)

11:00~ 配信開始

心理学部

ふじむら ともみ

藤村 友美 准教授

コミュニケーションにおける表情の役割

— 感情心理学からの視座 —

メッセージ

コミュニケーション術としてではなく、「学問として」の表情から、心や行動の一般的な法則を学びましょう。

概要

表情には、喜び、怒り、悲しみなどさまざまな感情があらわれます。目の前にいる人の表情を見ながら「どんな気持ちなんだろう」と考えていてふと気づくと、自分もその人と同じ表情になっていることがあります。このように、相手の表情を思わずまねしてしまう現象を「表情同調」といいます。この表情同調は、相手との親密な関係を築くうえで重要な役割を果たしていることがわかっています。

この講義ではまず「表情を表出する」ということが私たちの身体や心にどんな影響を与えているのかをお話しします。そして、相手の表情をまねする「表情同調」が、相手を理解するうえでどのような役割を果たしているのか、どのように相手との社会的関係を調整しているのかを心理学の実証研究を踏まえてお話しします。

表情という身近なテーマが、みなさんの心理学への興味の扉が開くきっかけになればうれしく思います。